令和5年9月27日（水曜日）

建設通信新聞

足立参院議員招き 若手社員と意見交換

人・夢・技術グループ

人・夢・技術グループは25日、東京都中央区の長大本社技術センターで足立敏之参院議員を招いてグループ若手社員との意見交換会を開いた。長大や基礎地盤コンサルタンツなど主要グループ会社7社から約100人が参加し、公共投資拡大の意義などについて活発に意見を交わした＝写真。

冒頭あいさつした永冶泰司社長は「最近の若い人は政治に興味が薄いといわれている。われわれの生活に密着しているのが政治だと改めて認識し、もっと政治を身近に感じてもらいたい」と呼び掛けた。塩釜浩之常務経営企画担当がグループ長期経営ビジョン2030に掲げる四つの事業軸と五つの主要施策などを紹介した後、足立氏が「建設産業の再生とインフラの再生に向けて」と題して講演した。

この中で足立氏は、欧米先進国や韓国に比べても立ち遅れているわが国のインフラ整備水準や低迷する実質GDP（国内総生産）成長率などをデータで示しながら、公共投資拡大の必要性を強調。さらにインフラの整備と維持管理、防災と地域創生の担い手である建設産業の給与と休暇、未来につながる希望を高めていく〝新3K〟実現に向けて全力で取り組む姿勢を示した。

これを踏まえた意見交換では、自動運転技術に対する期待や防災技術の世界展開、国政での公共投資拡大に対する理解度とこれを高めるための取り組み、女性活躍のさらなる推進、人口減少下のインフラ整備の在り方など、さまざまな切り口から活発に質疑が飛び交い、足立氏も自らの考えを示しながら応じていた。